

2011年鹿児島県児童クラブ連絡協議会5周年企画 記念講演会&第3回シンポジウム アンケート  
記念講演会とシンポジウム参加いただいた38名の方から、アンケートに回答をいただきました。

(指導員25名、保護者2名、設置者5名、行政2名、その他4名)

■「今日の子育てと学童保育の役割～聞いてよ！こころのつぶやきと叫び～」

講師：村山 士郎さん（大東文化大学）

■『「かごしまの学童ほいく」から見てくる課題～すべての子どもたちにいきいきとした放課後を！～』  
元気をいただく感想文をたくさんありがとうございました。

## ■記念講演会

- ・学童保育に10年たずさわりの、今日のおはなしは深くうなずけるお話がたくさんあり、孫を持つ身にもなり、さらにことばの大切さを感じる今頃です。学校とはちがって学童では、日頃子どもが経験（体験）できないことなどをたくさんとりいれていきたいものだと思うことでした。
- ・わかりやすくお話しいただけ、自分の中にスッと入ってくる内容でした。たくさんの経験ができ、関わりあのできる学童でありたいなあと思えました。
- ・ユーモアを交えてわかりやすい講演でした。「ことば育ち」の大切さがよくわかりました。
- ・ことばの深み、豊かさ、実体験の中から発せられことばの必要性等、あらためて感じることでした。
- ・静かな語り方で、とても大切なことを教えていただきました。特に、豊かなことばについて、生活する中で体験することで豊に育つこと、そのための大人のかかわり方、考えさせられました。実生活でも、一つの言葉に対して思うことが、自分の体験によって分からないことがあると、実感させられる場面（お孫さん、学生さんの例でも）うなづくことでした。ユーモアある中で“ハッ”とさせられる先生の講義、人気だろうと思えました。
- ・村山先生の温かなお人柄のにじみ出たとても楽しい講演会でした。
- ・ユーモアもあり、あっという間の1時間30分でした。言葉の大切さを痛感しました。
- ・生活体験のお話、参考にさせていただきます。
- ・楽しくお話を聞くことができました。これからの子どもたちへのかかわり方を考えていきたいと思えます。
- ・日頃の子どもの様子が浮かんできました。「豊かなことば育ちが心と学力の基礎」を読んで、復習しつつ今後に生かしていきたいと思えます。
- ・村山先生の「経験」から出てくる物事の広がり幅の大きさのお話を聞くことができ、明日からの現場での活動にも生かして行こうと思えます。

- ・豊かな言葉は生活体験から育つことの大切さを知りました。
- ・子どもの成長の変化、生活の変化等、考えさせられました。言葉を大切にしていきたいです。
- ・「生活づくり」ということ、生活体験によりことばの意味が何倍にも広がっていくということ、大きな示唆をいただきました。
- ・また改めて考えなおさなければいけないこともあり、話をうかがうことができ、自分自身にとってもよかったですと思いました。
- ・現在の子どもたちをとりまく状況、またこれから先生となっていく、学生さんたちの感性というか、大切にしていかなければならない部分など、危機感を感じることでした。
- ・言葉の使い方、意味など指導員として意識して使いたい。とてもためになりました。
- ・「うんうん」とうなづくことが多く、気づいているようで気づいていないことなどたくさん学びました。
- ・とてもわかりやすいお話でした。子どもたちの根っこ大切なことをあらためて感じることでした。
- ・ことばの大切さというものを学びました。母語体験や共感体験によりことばが豊になり、学力も上がっていくということを学び、自分の学童でももっともっと色々な事を体験させてあげて、できるできないで評価せず、子どもたち本来の姿というのを見ていってあげたいなと思えました。とても面白い講演でした。
- ・楽しい講話の中にも、子どものことばや詩など実体験を交えて、参考になるお話をたくさん聞いて良かったと思えます。
- ・学生の頃を思い出しました。子育てはだいぶ前に終わり、初めて児童クラブでの仕事に入り、どうすればどの様な指導が必要かと思っていました。今日の講演をきいて安心しました。学童保育の役割は？とか、自分で何回も考えたりすることがうそのようです。また、先生の講演を聞いて、これから指導員として頑張りたいと思えます。
- ・楽しい中にも、今あるべき姿を話してくださり、今後の学童の運営に活かしていければと思います。
- ・ユーモアを交えた講演で楽しく聞かせていただきましたが、もう少し内容を学童保育の役割の部分詳しくお聴きしたかったです。



### 【村山士郎先生の著書 とり扱っています！】

◆豊かなことば育ちが心と学力の基礎

本の泉社（2009/06/20 出版）1000円

◆聞いてよ！こころのつぶやきと叫び

一続・子どもと読みたい100の児童詩

本の泉社（2009/07/15 出版）1000円

お求めは、県連事務局へ！

## ■シンポジウム

- ・黒木わいわいクラブ、興味を持っていました。ぜひ、一度行きたかったが、今日のパネラーとしてご意見、発表の機会があり、とても来て良かったです。私も頑張って、若い人たちに応援していきます。
- ・それぞれの立場から発表とても良かったと思います。これからますます学童保育の大切さ（幼児教育）共に感じました。5年目ではありますが、一步一步着実な歩みになればいいなと思うことでした。
- ・我が学童も年々利用者が増え、その影響で「しっかの子どもと関わっていないのでは？」という想いを抱いています。ブックレットを読んで、現状を把握し、今後の保育につなげていきたいと思いました。
- ・他の学童クラブの様子の一部でしたが良かったので良かったです。
- ・まだまだ入りたくても入れない地域がある反面、福祉施設や幼稚園、保育園等が学童を設置し、共存する難しさも見えてきています。今後、子どもにとって豊かな放課後を過ごせる場所として、考えていかなければと思います。
- ・県内の学童の実態、そこを生活する場とする子どもたちの思い、資金づくりをした父親たちの実践について、よく理解できる報告をしていただいたと思いました。10年以上勤務の方から「家族構成の変化」が大きく、子どもたちの生活背景の変化があること、そのことに気づいて、子どもの成長を見守る手だて、行政へ訴えること等、考えさせられることは、まだ3年目の自分自身もうなずき、一人ひとりの子どもたちが求める場に対応できたらと、努力しつつそれができないことを反省することもしばしば…。
- ・指導の内容、身分の確立等課題がまだまだある。
- ・各クラブでの問題などが共有できることは良いことだと思います。これからもこういった場に参加できたらと思います。
- ・短い時間の中で、継続的に指導していく、日常の忙しい中での指導を振り返ることができました。
- ・いろいろな問題がありますが、事務局を中心に研修体制も整い、学ぶ機会もたくさんありますので、学童が子どもにとっても保護者にとっても「心のオアシス」になるよう、指導員一同、力を合わせて頑張りたいと思いました。
- ・指導員の仕事を改めて考える良い機会となりました。子どもたちにとって必要な指導員になれているかなと思うところです。
- ・学童保育を地域によっていろいろ工夫されていることを知りました。
- ・なかなか現状は厳しいですが、子ども一人ひとりが安心して楽しく過ごせるように、学童保育への理解を深めたいと思います。
- ・意義深いお話の内容に、これからも頑張っていこう！という志を新たにしました。
- ・少し、時間が短かったです。せっかくの機会でしたので、もったいない気がしました。時間があればもっと質問したいこともありました。
- ・いろいろな学童のかたちがあるのだと感じました。
- ・他のクラブの状況が分かり良かった。
- ・さまざまな課題があり、考えさせられました。特に、指導員の立場や意識、社会的立場というものが気になりました。

自分たちの意識の中で、変えていける部分もあるし、同じような考えの話を聞けてとても良かったと思います。指導員の話をもっと聞きたかったです。

- ・まだ開設して2年目のクラブなので、内容をよく読んで今後の参考にしていきたいと思います。
- ・鹿児島県の全体の学童保育が聞けて良かったと思う。成功例など子どものかかわり方などいろいろと聞けて良かったと思う。子どもが好きな遊びを見守ることが大切だとわかり、本当にうれしく思います。他の児童クラブの話が聞けて良かったです。
- ・課題は山積ですが、一つひとつクリアしながら、一緒に頑張っていかせて下さい。
- ・まだまだ運営面等が厳しく、国や市町村行政の援助が急務であると分かりました。
- ・ブックレットもすごくよくまとめられ、事務局や編集をして下さった先生方のご苦労がにじみ出ているようでした。パネラーの方もベテラン揃いで実のあるシンポジウムだったと思いますし、今後の子どもたちとの関わりを再度考え直すきっかけにしたいです。
- ・現場の指導員の先生方の話には、説得力があります。うなずくところが多かったです。

## ■今後どんな研修会に参加したいか

- ・前回（加治木）のように、各児童クラブでの意見交換も欲しいです。
- ・障害をもった子との関わり方等についての研修会に参加したいです。
- ・設置者、運営委員長だけの運営等の研修会があればと、いつも考えています。
- ・子どものしつけ、しかり方や遊び方について等。
- ・子どもの遊びについて学びたい。遊び方など。
- ・手作りおもちゃ、伝承遊びを体験してみたいです。
- ・しょうがい児の保育についての研修会に参加したいと思います。
- ・しょうがい児への接し方、遊びに関するもの。
- ・障碍児保育。
- ・トラブルシューティング
- ・経営について
- ・学童でできる遊びなどの研修会に参加したい。
- ・しょうがい児についての研修を受けたい。
- ・遊びについての研修会があればいいと思う。
- ・実状にあった現場の問題と対策例など。各種補助金に対する講習。
- ・互いにざっくばらんな話ができる研修会。

